

事業番号	10 02 03	事業改善シート（令和2年度実施事業分）				<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	森林資源の多面的利用推進事業	部局	林務部	課・室	信州の木活用課				
		実施期間	S48～	E-mail	ringyo@pref.nagano.lg.jp				
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)									
8つの重点目標	付加価値を高め、経済成長を実現								
	人口の社会増を実現								
	インバウンド需要を取り込み観光消費額を増加								
総合的に展開する重点政策	2-4 収益性と創造性の高い農林業の推進				6-1 個性豊かな地域づくりの推進				

## 1 事業の概要

事業の現状・目指す姿 (予算編成時)	<b>【現 状】</b> ○長野県は、古くから里山を中心に、きのこを始めとした森林利用が行われてきたが、近年は社会情勢等の変化や森林所有者の関心の低下等により、森林との関わりが低減している ○長野県の魅力である、里山の有効活用のため、地域の里山への関心向上を行う必要がある <b>【目指す姿】</b> ○森林を活かす力強い林業・木材産業づくりのため、里山を中心とした、地域や企業等による森林整備、森林資源の多面的な利用を促進する ○きのこを始めとする特用林産物の生産振興、森林セラピー利用者の増加（H30：7,023人⇒R2：8,000人） ○森林の里親新規契約（H30：5者、各年5者契約） <b>【実施内容】</b> きのこを始めとする特用林産物の生産振興、森林セラピー等企業も含めた里山利用、里山利活用のための資材等整備											
	<b>指標の状況及び目標値</b> [↗:改善、↘:悪化、→:変化なし]											
		No						区分(単位:千円)		R1年度	R2年度	
成果指標		H30年度	R1年度	R2年度	目標値	達成状況	事業 コスト	前年度繰越	0	1,179,933		
1	林務部所管の特用林産物生産額(まつたけ除く。)	3,367,541千円	5,643,098千円	↗	5,536,781千円	↘		3,504,728千円	達成	現計予算	1,227,145	60,338
2	県内の森林セラピーガイド利用者数	7,023人	7,195人	↗	2,758人	↘		8,000人	未達成	合計(A)	1,227,145	1,240,271
3	里親契約における企業等の契約件数	5件	5件	→	3件	↘		5件	未達成	うち一般財源	2,267	2,097
4										決算額(B)	39,229	753,183
										職員数(人)	4.76	5.00
成果指標設定理由	①特用林産物の生産基盤を維持するため、きのこ等の特用林産物の生産額を成果指標に設定 ②森林セラピーの普及啓発の効果としてのガイド利用者数を成果目標に設定 ③森林整備を通じて企業のCSR活動を支援するための里親契約における企業等契約件数を成果指標として設定											
達成状況の分析	①コロナ禍による巣ごもり需要の増が暖冬による鍋物需要の減で相殺されたことによる減 ②コロナ禍によるイベント、講座等県内外からの受け入れの中止による減 ③コロナ禍により、企業等と受け入れの里子候補地の調整が進まなかったことによる減											
主な取組	○原木栽培きのこ等安定供給の推進 東京電力(株)福島第一原子力発電所の事故の影響による原木等の生産資材の高騰等で、経営が逼迫している原木しいたけ等生産者の生産資材導入を支援 ○特用林産生産施設の災害復旧 令和元年東日本台風により被災したきのこ生産施設等の復旧・整備を支援 ○森林セラピー基地の利用と地域活性化の推進 ・森林セラピー基地における施設整備 ・ガイドやコーディネーターを育成するための研修を実施 ○森林の里親促進事業を通じた企業による森林づくり ・企業のニーズに応じた地域とのマッチング											
										森林セラピーガイド育成研修		

## 2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	課題等		今後の方向性	
	東京電力(株)福島第一原子力発電所の事故や令和元年東日本台風災害の影響からの回復には時間を要する。		特用林産物生産者の生産資材導入や施設復旧等の支援を継続する。	
	森林セラピー基地の施設の老朽化や、利用者に対して一定の質で再現性のあるプログラムを提供できる体制が不足している。		森林セラピー基地における施設整備により利用者の安全を確保するとともに、質の高いプログラムを提供できる人材育成を進める。	
身近な里山の整備と保全を図るため、森林への理解と関心を高め、森林を支える山村地域の活力を高めていくことが必要になっている。		地域住民による里山の利活用や企業との連携による山村地域の交流人口の増加を図ることにより、里山を活用した山村地域の振興に取り組む。		

事業名	森林資源の多面的利用推進事業	部局	林務部	課・室	信州の木活用課
-----	----------------	----	-----	-----	---------

細事業 No.	細事業名	R1年度 決算	R2年度 決算
1	森林資源の多面的利用推進事業	39,229 千円	753,183 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和2年度 実施内容(実績)
1	山の幸生産振興対策事業	補助金	まつたけ、しいたけ、山菜、製炭等の特用林産物の生産技術向上のための研修会、シンポジウムの開催にかかる経費の補助 【研修会の開催数：3回、シンポジウムの開催数：1回】
2	特用林産振興資金貸付金	貸付金	特用林産物の生産加工、流通施設の導入及び諸資材の購入に必要な資金を融資 【融資対象者：4名、融資額：3,800千円】
3	なめこ生産安定資金造成事業	補助金	なめこの市場価格が低迷した場合に、（一財）長野県野菜生産安定基金協会が生産者に補給金を交付するための資金造成に対して補助 【加入団体：7団体、補助総額：2,145千円】
4	原木栽培きのこ等安定供給推進事業	補助金	東京電力（株）福島第一原子力発電所の事故の影響で高騰した、きのこ原木及び種菌の購入経費の補助 【補助件数：1件、補助総額：2,621千円】
5	原木栽培きのこ等安定供給推進事業	直接	「長野県野生きのこ類及び山菜等における放射性物質の検査方針」に基づき、放射性物質検査及び検討会議を実施 【調査検体数：25検体、検討会議の開催数：1回】
6	森林セラピー推進支援事業	直接	県内森林セラピー基地活用促進のため、協議会運営を開催 【協議会2回開催 謝金・会場使用料等 事業費208千円】
7	森林セラピー推進支援事業	委託	セラピーガイドの資質向上のための研修や地域コーディネーター育成研修のためのガイドツールの開発、先進地調査等の外部委託 【ガイドツール制作、先進地調査報告等 委託費：990千円】
8	森林セラピー推進支援事業	補助金	県内森林セラピー基地等へ施設整備のための支援を実施 【施設整備6箇所実施 補助金：15,571千円】
9	森林(もり)の里親促進事業	直接	森林の里親制度の普及・取組の推進のため、企業等からの問い合わせへの対応、仲介、オンラインでの普及等を実施 【契約締結3件 事業費：54千円】
10	学校林等利活用促進事業	直接	学校林を活用した教育活動を推進するための県立学校の学校林の整備(支障木伐採等)を実施 【2校 事業費 1,703千円】 学校林活動を行う学校への資機材の譲与及び指導者の派遣 【15校 事業費3,758千円】
11	学校林等利活用促進事業	補助金	学校林を活用した教育活動を推進するための学校林※の整備(除間伐・歩道整備等)を支援 ※県立学校の学校林を除く 【10校 補助金額8,258千円】
12	里山資源利活用推進事業	補助金	里山整備利用地域の活動に必要な初期の資機材導入等を支援 【31地域 補助金額16,508千円】
13	特用林産施設災害復旧対策事業	補助金	令和元年東日本台風災害により被害を受けた、特用林産物(きのこ)の生産施設の災害復旧対策事業を実施 【22事業体 補助金額692,582千円】